

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1  
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

## 令和元年 **11**月の**優しさ**通信

### (1) 認知機能検査 活用の幅広く 医療以外にも開拓

#### 健康経営や選手ケア 神戸のトータルブレインケア

\*トータルブレインケアのサービスは主に認知症の早期発見による重症化予防を狙ったものですが、企業の健康経営支援やスポーツ選手の脳しんとう復帰プログラムなどに用途が拡大。

・体力測定サービスを提供するアシックスや大学ラグビーの強豪などが採用。

\*トータルブレインケアは2016年から「脳活バランサーC o g E v o (コグエボ)」を販売。

認知機能に関する5要素	
計画力	最適な計画を立てて遂行する力
記憶力	物事を覚え必要な時に取り出す力
注意力	意識を集中させて持続する力
見当識	日時、自分のいる場所などを把握する力
空間認識力	物体の空間に占める状態を把握する力



- ・「脳活年齢」の計測
- ・スポーツの脳しんとう復帰プログラム
- ・警備員の事故防止



(2019年10月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2  
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

## (2) 特養補助対象者 削減へ 預金等 600 万円以下に限定

### 介護費 480 億円抑制 負担と給付 公平性焦点

\*見直しを進めるのは、所得が少なく住民税が非課税となる世帯を対象とした「補足給付」と呼ぶ制度。

- ・特別養護老人ホームなどに入居する人が対象。
- ・単身の場合は預貯金などの金融資産が 1000 万円以下、配偶者がいる場合は 2 人合わせた金融資産が 2000 万円以下の場合に、食費や居住費の一部について補助。

\*厚労・財務両省はこの基準を単身は 600 万円、夫婦なら 1600 万円に下げ、対象者を絞り込む方針。

・一定の所得がある人は、金融資産が 600 万円以下でも食費の補助を止めることを検討。

\*今の制度では約 100 万人が補助を受け、介護給付費として年約 3200 億円を支出。

\*特別養護老人ホームに入居する人と在宅で介護を受ける人との間の不公平感をなくす狙いも。

\*特別養護老人ホームに相部屋で入居すると、食費と居住費で月額 68,000 円。

\*補助は 3.7 万円、4.5 万円、5.9 万円の 3 段階。

\*介護保険制度の総費用は、2000 年度の 3.6 兆円から 2019 年度には 11.7 兆円と 3 倍超に。2025 年度には 15.3 兆円とさらに膨らむ見通し。

\*65 歳以上の人が支払う保険料は現在、全国平均で月 5,869 円。制度発足時からほぼ 2 倍に増えました。

(2019 年 10 月 30 日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

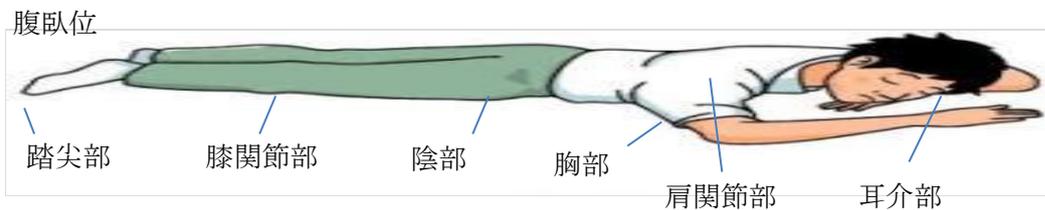
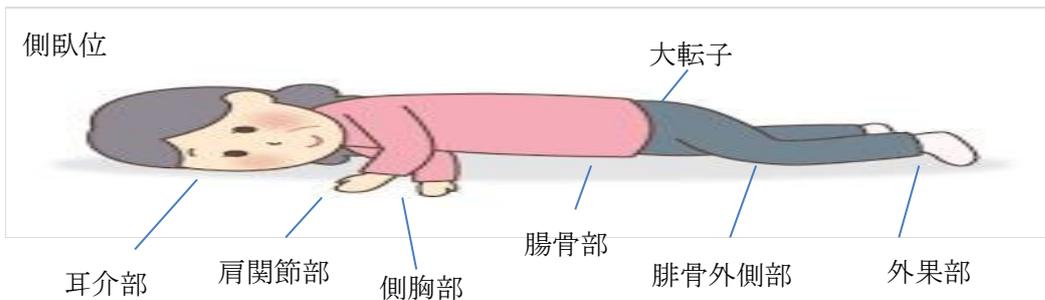
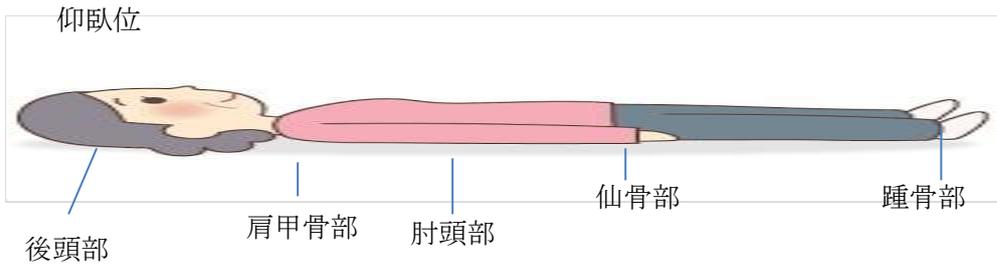




## 今月の福祉用具－床ずれ防止関連用具 その1

### 褥瘡<sup>じょくそう</sup>のできやすい部位

\*褥瘡の原因は、圧迫、ずれ、湿潤、栄養不良が考えられます。



(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)

